# 1901年青森県東方沖地震の岩手・秋田の被害\*

北海道大学 名誉教授 鏡味 洋史 秋田大学 地方創生センター 水田 敏彦

#### 1. はじめに

三陸沖北部では 1968・1856・1763・1677 年の地震を固有地震とし海溝型地震の長期予測が行われている。筆者の一人は、固有地震の間の 1901・1931 年に発生した青森県東方沖の地震について青森県・北海道の地方新聞記事から被害の詳細を明らかにしている 1), 2)。1901 年の地震では被害は一部、岩手県・秋田県におよんでいる。本論では、岩手県・秋田県の被害について各県の代表紙による文献調査を行い被害の状況を明らかにする。

#### 2. 三陸沖北部の海溝型地震

日本海溝沿いの三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価が 2002 年に地震調査委員会によってなされた。青森県東方沖を含む三陸沖北部について表 1 に示す 1677・1763・1856・1968 年の地震を固有地震としている。これらの地震の平均発生間隔を 97 年とし、最後の 1968年十勝沖地震からの経過年数をもとに今後の発生確率を算定している。2019年現在、今後 30年以内に 8~30%の発生確率としている (地震調査研究推進本部ホームページ<sup>3)</sup>)。

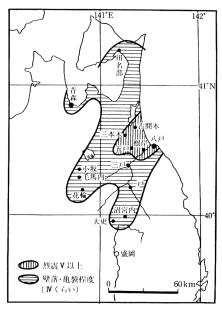
7% /I. 🖂	17	11.0=1-4	+1=1+	
発生日	M	北領域	南領域	日本被害地震総覧4)の記述
1677. 04. 13	7.9			八戸震害あり,青森・仙台無被害,津波
1763. 01. 29	7.4			八戸・青森・野辺地・田名部・七戸,死3潰4
1856. 08. 23	7.5			八戸・青森, 震害少ない, 津波
1901. 08. 10	7.4		<b>\</b>	死傷 18,木造潰 8,家屋破損 615,八戸・小坂
1931. 03. 09	7.6	0		八戸壁落下,函館煙突破損
1935. 10. 18	7. 1	(	)	記述なし
1943. 06. 13	7. 1	(	)	八戸で津波
1960. 03. 21	7. 2	(		青森・岩手・山形県にわずかな被害
1968. 05. 16	7.9			死者 52 負傷 330,全壊 673 半壊 3004
1989. 11. 02	7. 1	(	)	津波 50cm 未満
1994. 12. 28	7.5		0	死者 2 負傷 29,建物被害 78,小津波

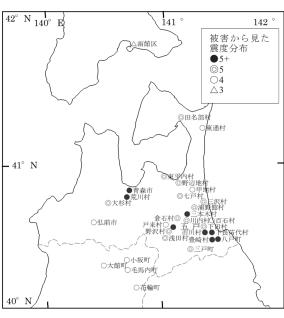
表 1 三陸沖北部の地震(■固有地震 ◎その他の地震 ▲本論で扱う地震)

### 3. 1901 年青森県東方沖地震の概要

本地震の諸元は日本被害地震総覧<sup>4)</sup> によれば、発震時 1901 年 8 月 9 日 18 時 23 分、青森県東方沖、東経 142.5 度、北緯 40.5 度、M=7.2 で、青森県三戸郡で被害が最大で上北郡がこれに次ぐ、秋田県では小坂・毛馬内で強く、岩手県では二戸・九戸郡の北部が強く、大更村、沼宮内、渋民村の被害を挙げている。被害分布を図 1 に示す。

<sup>\*</sup> Damage in Akita and Iwate prefectures due to the 1901 East off Aomori earthquake by Hiroshi Kagami and Toshihiko Mizuta





日本被害地震総覧4)による

鏡味(2004)2)による

図1 1901年青森県東方沖地震の被害分布

# 4. 新聞記事

両県の代表的地方紙の岩手日報・秋田魁新報の新聞記事は両県立図書館で閲覧複写し利用した。地震の記事は2日後の8月11付けの紙面から現れる。見出しを整理して表2に示す。

			_	
日	面	岩手日報	面	秋田魁新報
8/11	3	◎昨暁の強震◎各地の震害◎地震と笑ひ	3	●一昨日の地震▲第一回目の強震▲第二回目の
		話◎汽車運転中止		強震●地震
		◎函館電報◎八戸電報	背	
		◎当市以北激震別報▲地震【余震】	4	
8/13	3	◎地震続報◎福島◎宮古◎石巻◎山形	1	●青森函館の地震
		◎秋田◎函館◎宇都宮◎青森◎地震観察		
		◎本県内及附近の詳報は2面に記すべし		
		◎本県内地震余報▲下閉伊郡山田港▲気	2	
		仙郡盛附近▲上閉伊郡釜石町▲和賀郡沢		
		内地方▲小坂銅山▲昨日午後迄接取の報		
		汽車全通の朝	3	
8/14	1	◎宮古測候所報告地震談	1	●東北大地震」(日本鉄道破壊)
		◎青森県震災続報	2	●東北地震概観
	3	◎八戸地震談	3	●管内地震彙報▲大曲▲船越▲刈和野▲森岳▲
				能代▲亀田▲米内沢▲鷹巣▲扇田▲二ツ井▲六
				郷
8/15		◎汽車全通期◎青森県震災続報	2	
		▲余震	3	
8/16	3			●扇田地方に於ける震災

表 2 新聞記事見出一覧

### 5. 秋田・青森両県の被害のまとめ

# 5.1 市町村別被害

新聞記事に現れる被害に関する記事を当時の市町村別に整理して表3に示す。地震直後の被害調査報告に池上<sup>5),6)</sup>があり両県の被害も掲げる。秋田県では小坂鉱山の被害のほか、北秋田郡扇田町の民家の被害が報じられている。岩手県側では、広い範囲の町村で建物被害、商品被害などが報じられている。盛岡市内では被害のほか盛り場での状況が報じられている。1996年三陸津波地震からの日も浅く、沿岸部の釜石などでの津波避難が報じられている。盛岡市内の被害を図2に、岩手県・秋田県の市町村別被害を図3に示す。

県	郡	旧市町村	新聞記事	現市町村
岩	盛岡市 狐森		監獄煉瓦塀亀裂落下	盛岡市
手		北山	山 東禅寺門前瓦製造所瓦被害	
県		八幡町	花街の雑踏	
	岩手郡	沼宮内町	警察署壁落	岩手町
		大更村	平屋2棟倒壊	八幡平市
	二戸郡	福岡町	福岡中学校二階壁落,酒溢流,商品被害	二戸市
	九戸郡 久慈町 雑貨陶器店被害		雑貨陶器店被害	久慈市
		軽米村	雑貨陶器店被害	軽米町
	下閉伊	宮古町	障壁亀裂	宮古市
		釜石町	津波避難,雑貨陶器店被害	釜石市
秋	鹿角郡	小坂町	大煙突折損負傷 1,本山煙突破損,家屋壁落	小坂町
田	北秋田郡	扇田町	民家墜落 3,土蔵壁落 15	大館市
県	山本郡	常盤村	家屋傾斜	能代市

表 3 市町村別被害

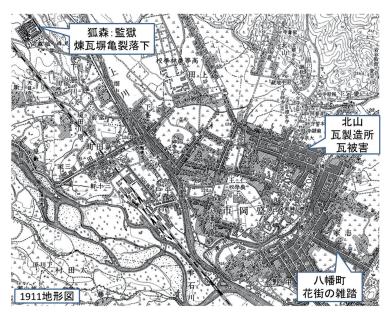


図2 盛岡市内の被害箇所

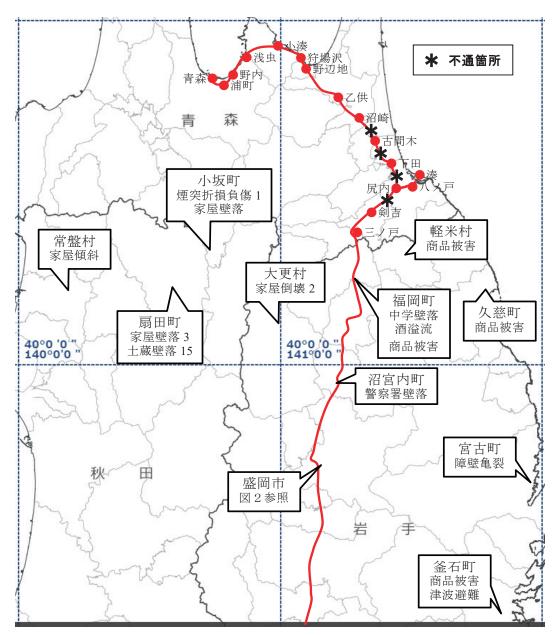


図3 岩手県・秋田県内の被害と日本鉄道線の不通箇所

### 5.2 鉄道の被害

当時,東北本線は私鉄の日本鉄道線として 1891 年に青森まで伸延していた。被害は青森県内に限られたが,影響の大きい岩手県では大きく報道されている。記事の例を図4に示す。

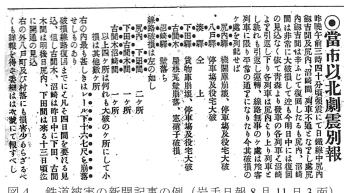


図 4 鉄道被害の新聞記事の例(岩手日報8月11日3面)

表 4 青森県内の日本鉄道線の駅および駅間路線の被害の一覧

駅名	現駅名	不通・復旧日	東奥日報新聞記事	岩手日報新聞記事
三ノ戸	三戸			
剣吉				
		10		
尻内	八戸		機関庫(煉瓦造)は大破壊,	機関庫崩壊,停車場及役宅
			屋根は落ち機関車 2 台は破	大破
			損せり,石炭庫も大破損,社	
			宅の破損最も甚しく中に合	
			宿所は棟梁落ちたれども死	
			傷なし	
		13	大破損し高舘村近傍の堤防	線路破損 2 ヶ所
	1		陥落せり	
下田			貨物庫は罹災しその他駅内	貨物庫崩壊,停車場及役宅
			建物の損害少なからず	大破
	1	12		線路破損1ヶ所
古間木	三沢		駅舎多少の損害	屋根瓦壁崩壊,窓硝子破損
	T	10	大破損	線路破損1ヶ所
沼崎	上北町		駅舎多少の損害	壁落ち
			線路に多少の損害	
乙供			多少建物に損傷あり	
			線路に多少の損害	
野辺地			多少建物に損傷あり	
狩場沢			損害少ない	
小湊			損害少ない	
浅虫			損害少ない	
野内			建物は大概壁亀裂し又は剥	
			離せり	
浦町	廃止		建物は大概壁亀裂し又は剥	
			離せり	
青森				
尻内				
八戸	本			停車場及役宅大破
湊	廃止			停車場及役宅大破

青森県内の日本鉄道線の駅および駅間線路の被害の一覧を表4に示す。当時、青森県内には南は三ノ戸から青森まで14駅あり、現在の「青い森鉄道」の28駅の半数である。現在の八戸・三沢・上北町はそれぞれ尻内・古間木・沼崎であった。浦町駅は1968年の複線電化に伴うルート変更により廃止となった。途中尻内から、八戸(現:本八戸)を経て湊までの支線があった。湊駅は八戸港に接していたが1944年旅客運転中止1985年に廃線となった。後に開通の国鉄八戸線の陸奥湊とは別の駅である。

機関庫の被害は尻内駅で、駅舎の被害は下田・古間木・沼崎・八ノ戸・湊など多くの駅で発生している。剣吉-沼崎間で線路の被害があり、複数の箇所で不通となった。剣吉-尻内、古間木-沼崎間は翌日に、下田-古間木間は12日、尻内-下田間は13日に復旧している。

#### 6. まとめ

1901年青森県東方沖地震の岩手県・秋田県の被害について、当時の地元新聞を収集し記載されている被害を整理した。岩手県では北部の広い範囲で、秋田県では鹿角郡に被害があったことを明らかにすることができた。大規模な被害地震の場合、被害集中地区の被害は詳細に調査が進められるが、周辺の被害については取り上げられることが少なく忘れ去られることが多い。軽微であっても災害履歴は地域にとって貴重な防災情報であるので後世に伝えておきたい。

### 参考文献

- 1) 鏡味洋史:1931.3.9 三陸沖北部 (青森県八戸沖) の地震の被害に関する文献調査,日本建築学会技術報告集,19,351-354,2004.
- 2) 鏡味洋史:1901.8.10 三陸沖北部 (青森県八戸沖) の地震の被害に関する文献調査,日本建築学会技術報告集,20,363-366,2004.
- 3) 地震調査研究推進本部ホームページ,青森県東方沖及び岩手県沖北部 https://www.jishin.go.jp/regional\_seismicity/rs\_kaiko/rs\_aomorioki\_iwateoki/(2022.1.4 閲覧)
- 4) 宇佐美龍夫・石井寿・今村隆正・武村雅之・松浦律子:日本被害地震総覧,東京大学出版会, 251-252, 2013.
- 5) 池上稲吉: 八戸地方の強震, 地学雑誌, 13, 629-633, 1901.
- 6) 池上稲吉: 八戸地方の強震 (承前), 地学雑誌, 13, 690-699, 1901.